

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	住宅販売会社（経営者）	・契約予定の客が、3か月前と比べて3割程度増加しており、今後も良くなる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・高校総体の開催による人出があり、ホテル、土産物屋、タクシー等を中心に、売上が見込まれる。
		商店街（代表者）	・学校の5日制導入に伴い、野外でのスポーツ活動が盛んになり、各市町村でも活動が多くなるので、やや良くなる。
		百貨店（販売促進担当）	・近隣百貨店の閉店で、ギフト中心の来客数が増加し、売上が拡大する。
		スーパー（店長）	・競合店が出来てからの客の戻りが予想より早いので、このまま計画通り進めば、やや良くなる。
		その他専門店〔携帯電話〕（従業員）	・携帯電話の新機種の発売予定がある。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（従業員）	・数か月前までは大きく前年割れしていた商品が、前年並み、あるいは一部で前年を上回っており、最悪の状況を脱したので、今後はやや良くなる。
		高級レストラン（店長）	・少しずつではあるが、夜の来客数が増加傾向にあり、今後に希望が持てる。
		一般レストラン（経営者）	・このまま家族客が増えていけば、店の活気も出て、今後は回復していく。
	遊園地（職員）	・新規導入アトラクションのパブリシティ効果が期待できる。	
	変わらない	一般小売店〔金物〕（経営者）	・農具等の需要は増加するが、工事全体は減少しているので、相殺して変わらない。
		百貨店（販売促進担当）	・以前はショッピングバッグをいくつも下げている客が多かったが、最近ではあまり見掛けず、状況は変わっていない。
		スーパー（経営者）	・競合店との競争が激化しており、客単価の低下傾向に変化はない。特売品のみを購入する客が増加し、利益への影響が懸念される。
		スーパー（営業企画担当）	・夏物商戦がスタートする5～7月は、前年と比較して、来客数は横ばいで、単価は低下し、売上全体は70%前後になると想定している。6月にはワールドカップ等の効果を期待しているが、総じて現状と変わらない、あるいはやや悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・天候に左右される商品が主力になるため、冷夏になると厳しいが、平年並みであれば何とかなる。5月に銀行ATMを導入するので、単価の上昇につながると期待している。
		コンビニ（店長）	・ゴールデンウィーク等、様々な販売ツールや販売促進を使って売上アップを狙っていくが、厳しい状況は変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・前年と比べ、来客数、販売額ともに苦戦しており、この傾向はなかなか改善されない。
		衣料品専門店（店長）	・客のカジュアル志向、客単価の低迷は依然として続く。
		乗用車販売店（営業担当）	・来客数や商談件数が伸びず、1件の商談から成約までにかかる時間が長くなっており、厳しい状況は変わらない。
乗用車販売店（販売担当）		・観光地を控えた地域にある当店の売上は、観光地が良くなる限りは上向かない。セールスに行ったホテルで、3か月後の予約は単価の安い客ばかりだと聞いているため、今後も変わらない。	
住関連専門店（店長）		・来客数は増加しているものの、必要な物以外は買わないため、買上点数があまり変わっていない。	
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・今後、仕入れ価格が横ばいもしくは、下がる商品もあると懸念される厳しい状況で、変わらない。		
観光型ホテル（経営者）	・春休み、ゴールデンウィークともに、家族連れの動きが大変鈍いため、夏休みも期待できない。		
観光型ホテル（スタッフ）	・直前にならないと宴会、宿泊予約が入らず、見通しが立たない。		
都市型ホテル（スタッフ）	・先行きに良い材料がない。ワールドカップ等の効果も期待できない。		
タクシー運転手	・経費節約ムードが緩む様子がない。休日の人出は増加しているが、タクシーの利用には結びついていない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（社員）	・携帯市場は飽和状態に近く、新規契約の伸びは期待できないが、携帯情報端末（PDA）の売上数は、徐々に伸びている。
		観光名所（職員）	・レストラン、ホテルの客数の伸びが期待できず、売上も望めない。
		ゴルフ場（従業員）	・客の予約数が伸びていないため、変わらない。
		その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・車歴が10年以上の車が増加しており、特に貨物車ではその傾向が顕著である。在庫車両は若干増加しているが、売上は減少しており、この傾向は変わらない。
		設計事務所（所長）	・特に目立った物件や動きはないが、仕事は途切れることなくあるので、2、3か月は安定する。
		住宅販売会社（経営者）	・民間金融機関の融資が非常に厳しく、客が買う気になっても、ローンが組めずにキャンセルとなるケースがかなり出ている。銀行が慎重過ぎるので、不動産担保の掛け目が低く、審査が厳しい。不動産が動かず、動かないから値段が下がる悪循環が起きている。
	やや悪くなる	百貨店（売場主任）	・当店の場合は、目的買いの客を重視し、固定客が多くを占めている。グループの郊外店は10%の伸びで推移しており、今後もフリー客は郊外店に行く。
		衣料品専門店（経営者）	・4月末日に駅前百貨店が閉店するため、その影響は計り知れない。
		乗用車販売店（販売担当）	・来客数は変わらないが、販売量が徐々に減少しているため、今後はやや悪くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・前年は65～70%であった客室稼働率が、今年は52～60%前後と1割程度低下している。今後、伸びる可能性は低く、厳しい。
美容室（経営者）		・同業者が多く出店しているため、今後はやや悪くなる。	
悪くなる	商店街（代表者）	・平日の商店街は閑散としており、催し物をして、動員数が以前より少ない。	
	コンビニ（店長）	・当店の近隣に、大型スーパーを核とした150店のショッピングセンターと2,500世帯の団地ができる予定で、今後はその影響を受けて、悪くなる。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新社屋オープンに伴い、店舗及び当社主催の教室の利用が見込まれる。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	・連休明けに立ち上がる新規受注品が軌道に乗り、新規設備、勤務体制の変更等を検討している。ただし、受注単価の下落に歯止めがかからない状況である。
		金融業（融資担当）	・金利の底ということもあり、上昇する前に家を建てようという動きがみられるので、やや上向く。
		司法書士	・県内の同業者の状況をみていると、一部地域で受注量が増加している。
変わらない	金属製品製造業（経営者）	・悪いままで変わらない。量産の仕事は、中国への生産シフトや中国での調達が増えてきている。多種少量の仕事は、系列を越えた見積合戦による仕事の取り合いで、仕事のないところが採算を度外視した見積を入れてきている状態で、単価の厳しさは問題外である。	
	金属製品製造業（経営者）	・建築関連業界では、首都圏の大型プロジェクトが一段落している。新規物件は秋口からの立ち上がりとなり、4～9月には仕事量の少ない状況が続く。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・世間一般や大手が動いてきても、自社の受注量が増加するようになるまで、半年くらいは低迷状態が続く。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・地元の大手企業で、仕事が少し忙しくなってきたと聞いているが、自社の得意先は良くなっていない。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・現在の低迷が続く。良くなるという判断材料が見当たらない。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・チラシは前年並みであるが、新聞本紙の広告は20%台のマイナスとなっている。2万部発行のミニコミ紙の広告も、同様の数字となっている。	
やや悪くなる	化学工業（総務担当）	・仕入れ金額が少額になっているので、従来、手形で払っていたものが、現金払いになっている。	
	その他サービス業〔放送〕（営業担当）	・製造業の工場の統廃合、大型店の閉店等の影響により、受注契約が落ち込んでいるが、新規のスポットコマースの引き合いが出てきている。イベントの受注は依然として悪い。	
悪くなる	一般機械器具製造業（経理担当）	・海外生産によって、大変な空洞化が起きている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（総務担当）	・民間工事受注は、今後ますますの価格競争を強いられる。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる		
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・生産活動がかなり活発にならないと、派遣者数の増加に結びつかない。半導体がやや忙しくなっているが、全体的には低迷している。
		人材派遣会社（社員）	・受注できる物件数が若干増加しているが、条件が厳しいので利益が出ない。今後、それほど好転はしない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・周辺企業の状況、取引先等の仕事の発注量が変わっており、支払いが滞る場合が多い。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・営業が各地区の企業、店舗を訪問しているが、広告数の伸びが今一つ足りない。
職業安定所（職員）	・管内の大手電機メーカー及びグループ企業からの離職者に加え、大手電線メーカーとそのグループ企業でも、今後半年～1年間に余剰人員の削減が予定されている。新たな離職者が予想され、求職者、雇用保険受給者とも増加し、引き続き雇用情勢の悪化が見込まれる。		
やや悪くなる	人材派遣会社（経営者） 学校〔短期大学〕（就職担当）	・明るい兆しは見当たらない。有効求人倍率をみると、求職者にとって大変厳しく、この状況はまだ続く。 ・4月に4回開催している来春卒業生対象の就職合同説明会では、参加企業、求人数とも、前年の70%程度となっている。職種も、専門的な技術職が多く、事務的な仕事は3分の1程度であり、今後も厳しい。	
悪くなる	-	-	